



ジャーナリズム論

第10回インターネット時代のニュース

今日の予定

ジャーナリズム論(10)

- レスポンへの返答
- インターネット時代において、考える必要があること
- インターネット時代のニュース
- 今後どうなっていくと言われているか
- 先生の考えていること（考えるきっかけとして）
- ディスカッション、雑談、リアペ書く時間 (20分～30分)

レスポンス番号

000-0000-0000

予定 ジャーナリズム発展編

- 10週目: インターネット時代のニュース
- 11週目: グローバル化と海外報道
- 12週目: 災害、人災、犯罪、負の遺産をめぐる報道
- 13週目: エンターテインメント化するニュース
- 14週目と15週目: 総括、期末テスト

期末レポートについて

それではここから本題

大学 = 大きく学ぶために
今回の授業で考えてほしいこと

クリティカルに考える人 = 自分で、自分のおかれている状況を意識的に把握し分析、自分から判断していくことができる人。もし、つるんでる仲間が、社会的に何か悪いとされることに誘ってきた場合、友達だしと思って、一度立ち止まることもなければ、何も考えないかもしれないけれど。以下の質問を自分に問うてみよう。ここで（知人に）言われたことに従ったら、何がおきるのか？ どんな影響が自分にとってあるのか？ それで？ 最終、どこにいきつくの？ いい人であっても間違いは沢山する

先生が大学でであった過去によるしくないことしてた人達の説教

中間前の概論を思い出して

ジャーナリズム 十箇条

ジャーナリズムの役割

というよりマスメディア（テレビなど）の役割

Informing function（伝える）

Interpreting function（解釈する）

Instructive function（教える）

Bonding Function（人と人をつなぐ→ 共同体、想像の共同体、ナショナリズム）

Diversion Function（考え方を分断する役割。アメリカで言えば共和党と民主党...）

Gate Keeper（ゲートキーピング効果。情報の流れを調節する）

Hypodermic Needle/Magic Bullet Theory

（皮下注射論/魔法の弾丸理論: 意図されたメッセージが、情報の受け手によって直接受け取られ、全面的に受け入れられること）

cultivation（メディアの涵養（かんよう）理論: 一般にメディアは人々の認識を支配する/メディアが人々の心に持つイメージを形成する）





"The press is at hand when these journalistic assaults have got to stop or go on, and I am really sure at the very least to that end. They are absolutely without mercy. If decent people would refuse to look at such newspapers the thing would right itself in time. The journal-

中間前の概論の内容を思い出し
しながら、考察する

今日考えてもらいたいこと

- ・ミレニアル世代、デジタル・ネイティブと言われる世代中心、あるいはZ世代のなかには、ニュースもネットから得るという人が一般的になってきた。その状況をあなた自信はどう感じるか？
- ・あるいはニュースをきちんとはみない、タイトルのみ読む、倍速よみする人がいる。その利点と難点は？
- ・以上の状況を考慮すると、あなたがニュース関連企業に務めている/ニュースにビジネスチャンスを見出した人である場合、あなたであればどんなニュースサイトを立ち上げる？
- ・上記に関連して、あなたが報道記者であった場合、ネットでどのようにニュースを提供するといいと思うか？

今日考えてもらいたいこと

- ネット時代のニュースに関連して、あなた自身は、ニュースを提供する組織/記者・ジャーナリストが今後どのようなようになって、またはどのような存在であってほしいか？
- 誰もがニュース編集責任者になれば、見たいと思う情報だけを集められる時代に、報道機関から何が得られると思うか？
- ニュースを集め広めるという仕事は、今後どのような形になると思うか？

以上示した以外にも考えられる点（今の現状をどう理解するか）

- 日本国内で未だに新聞（紙媒体のニュース）を読めというオジサマ達をどう捉えるか
- 逆に、ニュースは見ませんといいつつ、SNSなどのニュースをなんとなく見るデジタル・ネイティブをどう理解するか
- Youtube、TikTokなどでニュースバラエティーショーなるものを提供する一部日本の大手放送局と、1分から10分の短い動画解説型ニュースコンテンツ制作する海外報道局。そういったネットニュースの展開をどう理解するか
- そもそも今ネット上のニュース環境がどうなっているか、全体像を捉えられていない知らないというのであれば、ネットを調べること。日本のオジサマ教授が知らなかったけれども

ネットの登場で誕生した
新興ニュースサイト

現状（海外の場合）

- 新しいニュースサイトの誕生（NowThis, Huffintonpost, CNET, VICEnews, Politico, Aj+,)
- Explanatory Journalism（解説型ジャーナリズム）という新しいジャンルの誕生（Vox, Wall street Journal-youtube, Aj+, Economist, Netflix-explained, Cut, etc)
- 専門サイトの登場（WIRED, CNET, BuzzFeedなど）

Mon
Tue
Wed
Today Explained
Thu
Fri

Vox



ネットでニュースの提供方法
を変えた海外大手メディア

世界のネットニュースの状況

- Wall Street Journal youtube, Economist, Bloomberg News、など経済ニュース関係がYoutube、TikTokを活用して、若者向けの解説ニュースを提供
- CGTV（中国）、BBC World（イギリス）、NHK world、アルジャジーラTVなど（多言語で発信するチャンネルが増加）
- Explanatory Journalism（グラフィックスを多様した時事解説型ニュース）の台頭。（解説員がでて解説するのではない）
- サブスクか、NPO化するニュース組織が増加
- Huffintonpostなどのブログ型ニュースサイトの増加、文字制限撤廃、動画、写真、文字、イメージを多様したサイトが当たり前

世界のネットニュースの状況

- 誰でもコメントできて何か言える状況
- SNSで拡散させる機能の実装は当然のものに
- 元データ、取材の内容、アンケートの内容など補足情報も共有するように
- 言葉の検索など容易に
- 記者・ジャーナリストや解説員の解釈も添えているものの、統計データをグラフィックでわかりやすく提示させる、必要なデータをニュースの受け手が得られるようにするなど、サービスの充実化
- 引用や、寄せ集めて作成したニュースの場合は、引用元に飛べるようになってきているのが当然に

世界のネットニュースの状況

- ニュースとまではいかないけれど、特定の分野に特化した情報サイトも誕生（どちらかといえば趣味専門誌のオンライン版）
- Aviation Wire, WIRED, C-netなど
- Redbullなど他分野がニュースと称して、特定の分野に特化した情報サイトを立ち上げ
- 音楽、ファッションに特化したサイトなど

ネットでニュースサイトのようで、
特定の政治視点を助長するサイトも

世界のネットニュースの状況

- 欧米各国では特定の極端な政治思想を持つ人に受け入れやすいニュースサイトが誕生
- 陰謀論を検証せずにそのまま事実として掲載しちゃうニュースを装ったサイトも
- 従来型のニュース組織を批判するのみのニュースを装ったサイトも
- 多言語で情報発信するニュースサイトは特定の国の政治状況を反映させたニュースを提供することも
- コタツ記事、寄せ集め記事、キュレーションサイトなどの誕生…

インターネット時代のニュースに関して言われていること（海外で）

インターネット時代のニュースに関して言われていること（海外で）

- ニュース業界のあり方を変化させ、従来のビジネスモデルで持続的に維持できない。
- 新しいネットニュース企業が誕生しやすくなっている
- 情報源が、新聞（紙媒体）やテレビ/ラジオに限定されなくなり、誰もがオンラインで情報を得ることができるようになった今、従来のマスコミへの信頼度は下がる傾向が顕著になってきている

インターネット時代のニュースに関して言われていること（海外で）

- 前スライドに関連して、嘘やデマも含む質の低い情報にアクセスしやすくなるため、政治家などの大きな影響力を持つ人が世間/世論を操作（manipulate）しやすくなっている。それが、従来のニュース組織のブランドの信頼性を落としていっていると言われている
- 一方で、SNSの登場によって、ローカル（地方）のニュースにチャンスが訪れている/地方の自治体、個人がSNSで協力し、新しい形の信頼できるニュースを構築し始めている/調査報道やデータジャーナリズムの可能性が広がっている/

インターネット時代のニュースで言われていること（英ニュースThe Guardian）

- ネットは有用なツールだけれども、まだ昔ながらのニュース組織というのはベストだ。なぜなら編集者がいる。
- Twitterなどのツールは、断片的な情報は提供するが、全体像を理解するには昔ながらのニュースがいい
- "Learning how to use tools is different from saying everyone is a reporter. Anyone can make bread, but it's lousy bread. You need to spend time like a true, professional baker to learn to make a good bread."

インターネット時代のニュースで言われていること

(スタンフォード大学コンピューターサイエンス学科の先生がオンライン用に作成したページ)

- ラジオ、テレビが誕生した時と同じように、インターネットもニュースのあり方を変えた
- 変えた点: ニュースの目的、情報の収集方法、提示方法も変えた
- さらに、ニュースを受け取る側の人々の「ニュース観」というのも変えた
- 有名な大学を出たジャーナリストといった権威というようなもののあり方を変えた。受け取る側とニュースを提供する側の関係を変えた。
- ブログの誕生以降から、老舗ニュースから新しいニュース組織まで、ユーザーを基準とするニュース、ユーザーと一緒に作り上げるニュースというのが誕生し、ニュースのあり方を変えた。

インターネット時代のニュースに関して言われていること（日本で）

インターネット時代のニュースに関して言われていること（日本で）

- Yahoo!ニュースをはじめ、スマートニュース、グノシー、LINE NEWSといった「ニュースキュレーション」アプリが、何百万、何千万ダウンロードを競っているということは、これらのアプリが私たちの生活の一部になっている
- 「ネット時代になってあらゆるものがメディア化している」
（先生は、このメディア化という言葉が、何を指すのか正直理解できていない。英語のmediatizationをどうも直訳した模様）
- ポスト真実における従来メディアの信頼回復の重要性（これは海外でも言われてる）

今現在どうなっているか

現状（日本の場合）

- LineやYahoo、Smart News, News Picks, グノシーなどのアプリやサイトが一部ニュース組織の「キュレーター」になっている。
- 2020年、NHKがインターネット同時配信開始、民放も追随する形で整備。
- 新聞各社もオンラインでの動画配信を開始（日経は10年ほど前から）
- どこも財政基盤の確立をめざしている
- 専門的なニュースサイトなども登場（ただし、大半ニュースと言っていいのかわからないサイトも）

現状（海外の場合、既出の説明に付け加え）

- 大半の主要ニュース組織（国営放送やニュース含め）、インターネットサイトを多国語で設立してる
- コングロマリット（技術的にも市場的にもお互い関連性のない事業の合併/複合企業）化がすすむ
- 放送、新聞、ネットといった企業や組織の垣根を超えて、ニュース産業というビジネスが誕生（CNN、アルジャジーラ、BBC world、NHK world、ウォールストリート・ジャーナル、Fox、CGTV、etc）
- メインストリームとは異なると称して極端な政治思想を打ち出すインターネットニュースサイトが展開するのが普通に
- ポスト真実と言われるようになって、Unescoを中心に調査報道やデータジャーナリズム（AIやビッグデータを下にしたジャーナリズム）が提唱されるようになっている

今後どうなっていくか、また
現状をどう捉えるか

先生の考えていること

インターネット時代のニュースに関して

- 媒体に関係なく、時事問題を解説するニュースが増えてもらいたい。
- Explanatory Journalismが日本で普及してほしい。
- 新聞などの従来のマスメディアやニュース企業はゼロにはならないし、重要だけど、今のままでは、持続可能性はない。
- もっと国際ニュースや報道をしたほうがいい気がする
- キュレーションサイトも、読み比べや見比べるニュースサイトにしたらビジネスチャンスが広がるのでは



先生の考えていること

インターネット時代のニュースに関して

- 論破を目的にしてるオンラインニュース動画などは、テレビと大して変わらない気がする
- 日本のインターネットニュースサイトや動画を見ていて、違和感が拭えない（皆さんに聞きたい。どうしたらいい？）
- きちんとした情報を得て、まともな判断や思考ができるようにするにはどうしたらいいと思う？



皆さんにお願いしたいこと

これから生きる皆さんがネット時代にすべきだと思うこと

- 他言語でニュースが得られるようにしよう（実際に使用できるように語学を学習するといい）
- 日本語でも他国のニュースを見れる時代なので、比較しよう
- 「ネット情報は鵜呑みにしない」と言うのは先生にとっては何かナイーブまたは優等生が言う模範解答に聞こえてしまうので、もっと色々勉強/学習しよう
- 面倒くさいけど、色々考えつづけて行動すること
- 自ら情報を必要な時に発信する訓練を受けておく、スキルを身につける



お疲れ様でした

000-0000-0000